

児童・生徒の実態

話を聞けば内容を理解できるが、文章や漢字の読み書きが苦手である。

☆手立て

- ルビ打ちした教科書で、音読練習をする。（ルビ打ち：保護者の協力）



こんな命がけの場合、  
主のよび声を聞き分け  
がんは、こつちに方向を  
はやぶさは、その道を  
て、パーンと一つけた  
ばつと、白い羽毛が、  
の空に光って散った。  
ななめにかたむいた。  
もう一けりど、はやぶ  
げきの姿勢をとった時、

- ルビ付き単元別テスト（各教科）を用意し、児童と保護者の了解のもとに、活用する。

4  
夕鶴

（読む）  
□ 次の文章を読んで、  
つうとよひようは、本  
あるときは、つうは、  
た。よひようは、おいし  
あるときは、つうは、  
れました。よひようもい  
またあるときは、つう  
ました。よひようは、い  
聞き入りました。

- 漢字テスト（10問）は、解答用紙を事前に渡し予告する。漢字の読みを覚えた後、覚える漢字の書字を主体的にいくつか選び練習する。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	読みがな
げんそく	しんきゅう	こめだわら	わたぐも	あつい	かう	ふくこう	ごく	ゆうかん	ひょうろん	
原則	新旧	米俵	綿雲	厚い	飼う	複合	語句	夕刊	評論	漢字

支援を受けてみて

- 母が、ルビを打ってくれたので頑張ってみようと思いました。（本人）
- テストで白紙ではなく答えようとするなど、学習意欲が高まりました。（保護者）